

報道関係者各位

2022年8月5日
ボストンコンサルティンググループ

BCG、サプライチェーン全体の脱炭素化に向けた支援事業への 参加企業を決定

環境省の委託を受け、参加企業の GHG 排出削減目標の達成を支援

2022年8月5日 ―― 経営コンサルティングファームのボストンコンサルティンググループ(以下、BCG)は、環境省から委託を受けた「令和4年度大企業のサプライチェーン全体の脱炭素化推進モデル事業」への参加企業を決定しました。本事業では、参加企業が設定した Science Based Targets¹(以下、SBT)等の温室効果ガス(GHG)排出削減目標の達成を、コンサルティングを通じて支援します。

1. 支援対象企業の決定について

2022(令和4)年6月20日(月)～8月1日(月)に「令和4年度大企業のサプライチェーン全体の脱炭素化推進モデル事業」への参加企業を募集し、厳正なる審査を行った結果、以下の4社をモデル事業の参加企業として決定しました。

- ・ カルビー株式会社
- ・ ソフトバンク株式会社
- ・ 高砂香料工業株式会社
- ・ 株式会社ワールド

2. 事業実施の趣旨・背景について(環境省)

パリ協定において企業等による非政府主体の排出削減が求められたことから、グローバルに活動する大企業を中心に SBT 等の脱炭素経営の取り組みが広がっております。そして、我が国の温室効果ガス排出量を 2050 年までに実質ゼロとするためには、脱炭素に向けた取り組みを、個別企業における取り組みに加えて、サプライチェーン全体に広げていくことが重要です。

以上を背景に、SBT 等の目標達成に向けた企業の具体的な削減行動を促すため、「令和4年度大企業のサプライチェーン全体の脱炭素化推進モデル事業」を実施することといたしました。

本事業により、我が国における企業の排出削減のロールモデルを創出するとともに、事業を通じて得られたノウハウを幅広い企業に横展開することを目指します。

環境省プレスリリース

https://www.env.go.jp/press/press_00359.html

¹パリ協定に整合した、科学的根拠に基づいて設定された温室効果ガス排出削減目標

■ 担当者

丹羽 恵久 マネージング・ディレクター & パートナー



BCG パブリックセクターグループ、気候変動・サステナビリティグループの日本リーダー。ハイテク・メディア・通信グループ、社会貢献グループ、および組織・人材グループのコアメンバー。

慶應義塾大学経済学部卒業。国際協力銀行、欧州系コンサルティングファームを経て現在に至る。

■ ボストン コンサルティング グループ (BCG) について

BCG は、ビジネスや社会のリーダーとともに戦略課題の解決や成長機会の実現に取り組んでいます。BCG は 1963 年に戦略コンサルティングのパイオニアとして創設されました。今日私たちは、クライアントとの緊密な協働を通じてすべてのステークホルダーに利益をもたらすことをめざす変革アプローチにより、組織力の向上、持続的な競争優位性構築、社会への貢献を後押ししています。

BCG のグローバルで多様性に富むチームは、産業や経営トピックに関する深い専門知識と、現状を問い直し企業変革を促進するためのさまざまな洞察を基にクライアントを支援しています。最先端のマネジメントコンサルティング、テクノロジーとデザイン、デジタルベンチャーなどの機能によりソリューションを提供します。経営トップから現場に至るまで、BCG ならではの協働を通じ、組織に大きなインパクトを生み出すとともににより良き社会をつくるお手伝いをしています。

日本では、1966 年に世界第 2 の拠点として東京に、2003 年に名古屋、2020 年に大阪、京都、2022 年には福岡にオフィスを設立しました。

<https://www.bcg.com/ja-jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

ボストン コンサルティング グループ マーケティング 直江・福井・天艸

Tel: 03-6387-7000 / Fax: 03-6387-0333 / Mail: press.relations@bcg.com